

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人ももたろう海外友好協会

1. 事業名称 ももたろう日本語教育実践プログラム

2. 事業の目的

地域に暮らす在住外国人が日本語を習得し、自立した生活を送ることができるようになり、社会の一員として生活を送ることができるようになること。また、日系ブラジル人児童は日常の生活、学校生活を有意義に過ごせるようになることを目的とする。日本語教育を行う人材の養成、研修では、日本語指導法を習得し、異文化理解、多文化共生の推進に役立てる人材を育成する。

3. 事業内容の概要

日本語教室の設置

【A】定住外国人のための「ももたろう日本語教室」、

【B】日系ブラジル人児童のための「ももたろう日本語教室」、

【ももたろう日本語指導ボランティア養成講座】、

【ももたろう日系ブラジル人児童のための日本語教材作成事業】

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月 21日10:00 ～13:00	2時間	ももたろう日 本語教室	山根智恵、岡本淑 明、中桐規碩、西田 奈緒、枝松孝典、岡 崎郁子、西田瑞枝	業務全 般の検 討	今年度の事業についての 検討。教材作成について。
2	平成24年8月 11日10:00 ～13:00	2時間	ももたろう日 本語教室	山根智恵、岡本淑 明、中桐規碩、西田 奈緒、枝松孝典	日本語 教室の 開講に ついて	日本語教室を開講する上 での検討。教材作成につ いて。

3	平成25年1月 26日10:00 ～13:00	2時間	ももたろう日 本語教室	山根智恵、岡本淑 明、中桐規碩、西田 奈緒、枝松孝典	日本語 教室に ついて	日本語教室の経過報告、 日本語指導ボランティア養 成講座について。
4	平成24年3月 16日10:00 ～13:00	2時間	ももたろう日 本語教室	山根智恵、岡本淑 明、中桐規碩、西田 奈緒、枝松孝典、岡 崎郁子、西田瑞枝	業務全 般の総 括	日本語教室、日本語指導 ボランティア養成講座、教 材作成について総括。

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称 【A】在住外国人のための「ももたろう日本語教室」
【B】日系ブラジル人児童のための「ももたろう日本語教室」
- (2) 目的・目標 【A】地域に暮らす在住外国人が日本語を習得し、自立した生活を送ることができるようになり、社会の一員として生活を送ることができるようになること。
【B】日系ブラジル人児童が日常生活、学校生活を有意義に過ごせるようになることを目的とする。
- (3) 対象者 【A】地域に暮らす大人の在住外国人
【B】地域に暮らす就学している日系ブラジル児童、生徒
- (4) 開催時間数 【A】(回数) 40 時間 (全 20 回)
【B】(回数) 40 時間 (全 20 回)

(5) 使用した教材・リソース 「生活者としての外国人」のための標準的なカリキュラム教材
例集、いっぽにほんごさんぽ、自作教材

(6) 受講者の総数 【A】 21 人

(出身・国籍別内訳 中国 11人、ブラジル7人、ペルー1人、パキスタン2人)

【B】 20 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル20人)

(7) 受講者の募集方法

【A】在住外国人のための「ももたろう日本語教室」 告知方法

1:外国人が勤めていると思われる企業などに受講生募集チラシの配布

2:ハローワークなどへの配布

(募集チラシを添付)

【B】日系ブラジル人児童のための「ももたろう日本語教室」告知方法

1:昨年度の教室に参加していた外国人児童の家庭に直接、電話で連絡

2:その保護者が参加しているコミュニティなどの SNS を利用し、生徒募集を
呼びかけてもらう

(8) 日本語教室の具体的内容

【A】在住外国人のための「ももたろう日本語教室」

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 8 月 25 日 18:30~20:30	2 時間	11 人	中国(8人)、ブラジル (3人)	自己紹介、「人と 付き合う」	申し込み用紙説明、自己紹 介カード記入、口頭発表、 教材「人と付き合う」
2	平成 24 年 9 月 1 日 18:30~20:30	2 時間	11 人	中国(8人)、ブラジル (3人)	防災について	防災の日について。教材 「むかしばなし ももたろう」
3	平成 24 年 9 月 15 日 18:30~20:30	2 時間	17 人	中国(9人)、ブラジル (7人)、ペルー(1人)	災害に備える	消火器の使用方法につい て。教材「災害に備え対応 する」
4	平成 24 年 9 月 29 日 18:30~20:30	2 時間	15 人	中国(9人)、ブラジル (5人)、ペルー(1人)	物品購入・サー ビス	教材「物品購入・サービス を利用する」
5	平成 24 年 10 月 6 日 18:30~20:30	2 時間	15 人	中国(9人)、ブラジル (5人)、ペルー(1人)	物品購入・サー ビス	教材「物品購入・サービス を利用する」

6	平成24年10月13 日18:30~20:30	2時間	13人	中国(8人)、ブラジル (4人)、ペルー(1人)	物品購入・サー ビス	教材「物品購入・サービスを利用する」
7	平成24年10月20 日18:30~20:30	2時間	11人	中国(8人)、ブラジル (2人)、ペルー(1人)	住民としての手 続きをする	教材「住民としての手続きをする」
8	平成24年10月27 日18:30~20:30	2時間	12人	中国(8人)、ブラジル (3人)、ペルー(1人)	住民としてのマナ ーを守る	教材「住民としてのマナーを守る」
9	平成24年11月10 日18:30~20:30	2時間	13人	中国(8人)、ブラジル (4人)、ペルー(1人)	あいさつ	教材「あいさつ」
10	平成24年11月17 日18:30~20:30	2時間	13人	中国(8人)、ブラジル (4人)、ペルー(1人)	体験・行動する	教材「体験・行動する」
11	平成24年11月24 日18:30~20:30	2時間	14人	中国(8人)、ブラジル (4人)、パキスタン(2人)	丁寧語	ゲームを通して単語を覚える
12	平成24年12月1 日18:30~20:30	2時間	13人	中国(8人)、ブラジル (3人)、パキスタン(2人)	郵便・宅配便を利用する	教材「郵便・宅配便を利用する」
13	平成24年12月8 日18:30~20:30	2時間	14人	中国(8人)、ブラジル (4人)、パキスタン(2人)	郵便・宅配便を利用する	教材「郵便・宅配便を利用する」
14	平成24年12月15 日18:30~20:30	2時間	14人	中国(9人)、ブラジル (4人)、ペルー(1人)	クリスマス、かる た遊び	クリスマスソングを覚える、かるた遊び
15	平成25年1月12 日18:30~20:30	2時間	14人	中国(9人)、ブラジル (4人)、ペルー(1人)	会話、練習問題	教材「会話」
16	平成25年1月19 日18:30~20:30	2時間	15人	中国(10人)、ブラジ ル(4人)、ペルー(1人)	四文字熟語、HP 検索	四文字熟語、HP検索
17	平成25年1月26 日18:30~20:30	2時間	14人	中国(9人)、ブラジル (4人)、ペルー(1人)	パステルアート、 折り紙	パステルアート、折り紙

18	平成 25 年 2 月 2 日 18:30~20:3 0	2 時間	13 人	中国(8 人)、ブラジル (4 人)、ペルー(1 人)	手紙の書き方	手紙の書き方、節分につい て
19	平成 25 年 2 月 9 日 18:30~20:3 0	2 時間	12 人	中国(7 人)、ブラジル (4 人)、ペルー(1 人)	カタカナ	カタカナ
20	平成 25 年 2 月 16 日 18:30~20:3 0	2 時間	13 人	中国(9 人)、ブラジル (4 人)	感想文作成、修 了式	感想文作成、修了式

【B】日系ブラジル人児童のための「ももたろう日本語教室」

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 8 月 25 日 10:00~12:00	2 時間	12 人	ブラジル(12 人)	おなまえは？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
2	平成 24 年 9 月 1 日 10:00~12:00	2 時間	12 人	ブラジル(12 人)	いくらですか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
3	平成 24 年 9 月 15 日 10:00~12:00	2 時間	13 人	ブラジル(13 人)	あれはなんですか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
4	平成 24 年 9 月 29 日 10:00~12:00	2 時間	13 人	ブラジル(13 人)	いまなんじですか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
5	平成 24 年 10 月 6 日 10:00~12:00	2 時間	12 人	ブラジル(12 人)	トイレはどこですか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
6	平成 24 年 10 月 13 日 10:00~12:00	2 時間	13 人	ブラジル(13 人)	ごみのひはなんよう びですか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
7	平成 24 年 10 月 20 日 10:00~12:00	2 時間	11 人	ブラジル(11 人)	なんじにおきます か？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
8	平成 24 年 10 月 27 日 10:00~12:00	2 時間	12 人	ブラジル(12 人)	どこへいきますか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
9	平成 24 年 11 月 10 日 10:00~12:00	2 時間	13 人	ブラジル(13 人)	たんじょうびはいつで すか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
10	平成 24 年 11 月 17 日 10:00~12:00	2 時間	15 人	ブラジル(15 人)	あさなにをたべます か？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
11	平成 24 年 11 月 24	2 時間	16 人	ブラジル(16	ともだちとにほんごで	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ

	日 10:00～12:00			人)	はなします	自作漢字プリント(読み、書き)
12	平成 24 年 12 月 1 日 10:00～12:00	2 時間	16 人	ブラジル(16 人)	にほんのせいかつは どうですか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
13	平成 24 年 12 月 8 日 10:00～12:00	2 時間	11 人	ブラジル(11 人)	たなかさんはどんな ひとですか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
14	平成 24 年 12 月 15 日 10:00～12:00	2 時間	13 人	ブラジル(13 人)	クリスマスソング、か るた遊び	クリスマスソングを覚える、かるた 遊び
15	平成 25 年 1 月 12 日 10:00～12:00	2 時間	14 人	ブラジル(14 人)	いまなにがほしいで すか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
16	平成 25 年 1 月 19 日 10:00～12:00	2 時間	16 人	ブラジル(16 人)	かんじをべんきょうし たいです	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
17	平成 25 年 1 月 26 日 10:00～12:00	2 時間	14 人	ブラジル(14 人)	パステルアート、折り 紙	パステルアート、折り紙
18	平成 25 年 2 月 2 日 10:00～12:00	2 時間	13 人	ブラジル(13 人)	いえのちかくにはなに がありますか？	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
19	平成 25 年 2 月 9 日 10:00～12:00	2 時間	12 人	ブラジル(12 人)	ともだちにおみやげを もらいました	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)
20	平成 25 年 2 月 16 日 10:00～12:00	2 時間	15 人	ブラジル(15 人)	ともだちとはなしましよ う、修了式	使用教材名: いっぱにほんごさんぽ 自作漢字プリント(読み、書き)

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

【A】在住外国人のための「ももたろう日本語教室」

1: 授業の中でのかるた遊び

受講生にとって初めてのかるた遊びだったが、興味深く参加していた。

講師は、その絵の内容まで説明をすることによって理解が深まった。



2:同教室の修了式

参加が出来なかった受講生もいたが、修了式には計19名の受講生が参加した。



(10) 目標の達成状況・成果

今回は、その日の講座が終わる毎に受講生に日本語で感想文を書いてもらうようにした。受講生がその日の授業をどこまで、理解をしているのか図るためだが、最初の頃は3行だけ、回を重ねる内に4行になり、5行になっていった。長く住んでいると話す、聞くができる外国人が多いが書くことについては難しいようだったが、修了式の感想文はそれぞれが自分で書いたものを発表できるくらいまでになった。

(11) 改善点について

【A】在住外国人のための「ももたろう日本語教室」の受講生は、様々な国、様々な日本語力の受講生が参加した。教室としては、中国人は中国人グループ、それ以外の受講生は、もう一つのグループなどと大きく分けて指導をしたが、やはり、細かい対応は出来なかった。マンツーマンとはいかないまでも、受講生の日本語力を伸ばすためには、もう少し細かいグループに分け、対応をしたほうが良かったのではないかなと思う。

【B】日系ブラジル人児童のための「ももたろう日本語教室」の受講生は、多くは昨年度から参加している児童だったが、今回は、初めて参加する児童が4人いたことで、こちらも細かいグループ分けが必要となった。【A】、【B】とももう少し、補助者を増やすことが必要なのではないかと考える。次回は、今年度開講させていただいた【ももたろう日本語指導ボランティア養成講座】の修了生などを含めボランティアスタッフの協力を仰ぐ必要があると考える。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 【ももたろう日本語指導ボランティア養成講座】
- (2) 目的・目標 日本語指導法を習得し、異文化理解、多文化共生の推進に役立てる

人材を育成する。

(3) 対象者 日本語指導のボランティアに興味のある18才以上の方

(4) 開催時間数(回数) 30 時間 (全 5 回)

(5) 使用した教材・リソース 自作教材

(6) 受講者の総数 12 人

(出身・国籍別内訳 日本人 11 人、フィリピン人 1 人)

(7) 受講者の募集方法

1:募集チラシの配布

2:地元の新聞社(山陽新聞社)に受講生募集の記事を掲載

3:地元のケーブルテレビ局(倉敷ケーブルテレビ)で受講生募集の案内

4:岡山県国際課がまとめている多文化共生連絡会議の構成団体(約40団体)に

メーリングリストで一斉に PDF を送付し、受講生募集の案内をした

5:おかやま NPO センターの HP に PDF を掲載するとともに、センター内でもチラシを配布した。

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 25 年 2 月 9 日 10:00~17:00	6 時間	10 人	日本(10 人)	開講式、講座:1、2	開講式、1:ボランティアで日本語を教えるとは?、2:日本語ってどんな風に教えるの?
2	平成 25 年 2 月 9 日 10:00~20:30	8 時間	10 人	日本(10 人)	講座:3、4、5	3:学習者から見た日本語学習のポイント 4:日本語の教科書にはどんなものがあるの? 5:日本語教室を体験してみよう
3	平成 25 年 2 月 9 日 10:00~17:00	6 時間	9 人	日本(8 人)、フィリピン(1人)	講座:6、7	6:日本語ってどんな言語? その1 7:日本語ってどんな言語? その2
4	平成 25 年 2 月 9 日 10:00~17:00	6 時間	10 人	日本(10 人)	講座:8、9	8:日本語の教え方 その1 9:日本語の教え方 その2
5	平成 25 年 2 月 9 日 10:00~15:00	4 時間	9 人	日本(9 人)	講座:10、修了式	10:日本語を教えてみる 11:まとめ 修了式

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

1:修了式当日の講座風景

岡山県内の日本語教室の説明と、日本語教室に協力するボランティアとしての心がまえなどをレクチャー



2: 受講生と講師陣



(10) 目標の達成状況・成果 今回、当法人としては初めての養成講座であったが、キャンセル待ちの人が出るほどの申し込みであった。また、偶然ではあったが、日本語ボランティアに携わるのが初めての受講生ばかりだったので講座もスムーズに進んだ。今回、受講生は広く岡山県内から参加されたので、それぞれの市で開講している日本語教室を説明したところ、各人がそれぞれ参加できる教室を模索していた。

(11) 改善点について 講師の都合、教室の都合などもあり、今回は1日6時間×5日間という短期のスケジュールの講座であったが、受講生は集中して参加をしていた。しかし、運営委員会からは次回は、もう少し1日当たりの講座時間を短くしてもよいのではないかと意見がでたので、検討する必要がある。また、子どもを持つ母親などが参加しやすいように託児コーナーを設けた方がよいのではないかなどの意見もでた。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 日系ブラジル人児童のための小学校で使う漢字プリント
- (2) 対象 就学している日系ブラジル人児童、生徒
- (3) 目的・目標 就学している日系ブラジル人児童、生徒は漢字の読み書きが苦手な

児童が多く、公立学校での学習の遅れになっている原因の一つである
と考える。それぞれが就学している学年までの漢字の習得ができている
ことが最終目標だが、今回は、小学1年、2年を中心に学習し、確実に
習得することを目標とした。

- (4) 構成 小学1年、2年の読み書きプリント 計36枚
小学3年～6年までの読み書きプリント 計8枚 合計44枚

(5) 使い方

読み、書きはそれぞれセットで1枚ずつ同時に使用する。最初にひらがなのプリントを声に出して読み、日本語の意味を理解する。読み終えたら同じことばが並んでいる漢字のプリントにふりがなをつける。それが終わると、最初に読んだひらがなのプリントに漢字を書いていく。わからない児童には途中、答えを見てもよいとアドバイスする。最後に何も見ずに答えが合うまで繰り返し学習をする。

(6) 具体的な活用例

日系ブラジル人児童、生徒の中には、小学校高学年、または中学生であっても小学一年生の漢字を理解していない生徒がいる。来日した年齢により、漢字の習得、日本語の理解度も差があるようであった。最初は、漢字を勉強することに抵抗を感じる生徒もいたが、最終的には競争心が生まれプリントをクリアしていく生徒が多かった。時間はかかるが、公立学校での学習の底上げにつながるものである。

(7) 成果物の添付 データにて提出

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

地域に暮らす在住外国人が日本語を習得し、自立した生活を送ることができるようになり、社会の一員として生活を送ることができるようになること。また、日系ブラジル人児童は日常生活、学校生活を有意義に過ごせるようになることを目的とする。日本語教育を行う人材の養成、研修では、日本語指導法を習得し、異文化理解、多文化共生の推進に役立てる人材を育成する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

日本語教室【A】定住外国人のための「ももたろう日本語教室」は多くの受講生が次回の開講を心待ちにしているようである。受講生はそれぞれ仕事を持っており宿題をすることも大変なようであったようだが、意欲的に学習に取り組んでいるので上達も早かったように思われる。

【B】日系ブラジル人児童のための「ももたろう日本語教室」に参加する児童・生徒は多くが小学生であったが、本を読む習慣などがないために語彙が少ない。なぜ本を読まないのか聞いて

みると、やはり、漢字がわからないからという理由であった。今回は、教材の本で一般的な日本語の習得と並行して【ももたろう日系ブラジル人児童のための日本語教材作成事業】で漢字プリントを作成したが、今回は、読書感想文を書く学習も同時に学習したい。

今回、初めて日本語教育を行う人材の育成・研修である【ももたろう日本語指導ボランティア養成講座】を開講させていただいた。受講申し込みの最終日を待たず、早々と受講生が定員に達し申し込みをしていただいた多くの方にお断りをさせていただいた。定員を10人までと決めていたので、そのような状況になったのかもしれないが、講師も10人程度の受講生の方がやりやすいようであった。受講生は、総社市、倉敷市などの近隣からはもちろんであるが、岡山市、高梁市、浅口市、瀬戸内市など遠距離にもかかわらず参加をしていた。修了後は、それぞれの街で開講している日本語教室にボランティアで参加をしたいと決めている人が多く、今回の講座で学んだことを活かして地域に貢献していただきたいと思っている。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

今回、【A】定住外国人のための「ももたろう日本語教室」では、標準的なカリキュラム案を参考に講座を進めた。講座の進め方の目標になる教材だったので大いに使用させていただいた。同時に自作教材(問題プリント、イラスト)を使うことにより理解度も深まったようである。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

今回、【ももたろう日本語指導ボランティア養成講座】を開講する際には、新聞、ラジオ、などのメディアを利用し、告知をさせていただいた。また、岡山県国際課の協力も得て、県内の多文化共生に関わる地方公共団体、大学関係者などにもメールで募集チラシのデータを送信してもらうなど、ご協力をいただいた結果、告知後、すぐに受講生が定員に達したのは、予想外であったが、それよりも多くの方をお断りしなければならないことは予想していなかった。中には、次回の講座のためにキャンセル待ちをされている方もいる。今回、多くの方のご協力を得て周知させていただいた結果、このように多くの方が日本語指導ボランティアに興味を持たれていることがわかったのは成果の一つであった。

(5) 改善点、今後の課題について

日本語教室に参加する受講生については、通学の事情もあり、やはり、総社市内の外国人を中心に受講生を募集するようになると思うが、それ以外の、特に日本人を対象にする講座については広く県内に周知をするべきだと認識した。それにより、常にボランティアの人出不足の状態である県内の日本語教室全体にとって人材の底上げになるのではないかと考える。